第1号様式
所属進行表

# 業務運営進行表

（平成２６年４月１日～平成２７年３月３１日）

| 所属 | 局名 | 部名 | 室・課（出先は所属）名 | 所属のホームページ |
|---|---|---|---|---|
| | 教育局 | | 希望ケ丘高等学校 | http://www.kibogaoka-h.pen-kanagawa.ed.jp/ |

## Ⅰ　業務概要

本校は、神奈川県最初の旧制中学校として開校し、定時制の課程普通科を併置しています。
「自学自習」「自律自制」「和衷協同」を旨とし、「学力向上進学重点校」と「切磋琢磨する部活道重点校」に指定されており、学力の向上を図るとともに部活動の推進にも取り組んでいます。

## Ⅱ　収支の状況

（単位：千円）

| | | | 第１四半期 | 第２四半期 | 第３四半期 | 第４四半期 | 出納整理期間 | 累計 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 収入 | 収入科目 | 年間計画額 | 収入済額 | | | | | |
| | 使用料及び手数料 | 2,076 | 1,652 | 9,851 | 23,554 | 13,946 | -7 | 48,996 |
| | 諸収入 | 652 | 291 | 211 | 188 | 159 | | 849 |
| | | | | | | | | 0 |
| | 収入計(A) | 2,729 | 1,942 | 10,063 | 23,742 | 14,106 | △ 7 | 49,846 |
| 支出 | 事業経費 項目 | (再)配当額 | 支出済額 | | | | | |
| | 事業費 | 53,592 | 1,559 | 10,327 | 24,306 | 15,545 | 612 | 52,350 |
| | 維持管理費 | 32,612 | 3,668 | 7,832 | 7,354 | 10,943 | 2,626 | 32,423 |
| | 計 | 86,205 | 5,228 | 18,159 | 31,660 | 26,488 | 3,238 | 84,772 |
| | 人件費　（注１） | | 249,298 | 170,823 | 254,909 | 178,654 | | 853,685 |
| | 支出計(B) | | 254,526 | 188,982 | 286,569 | 205,142 | 3,238 | 938,457 |
| | 差額(A)-(B)　（注２） | | △ 252,584 | △ 178,920 | △ 262,827 | △ 191,036 | △ 3,245 | △ 888,612 |

（注１）人件費には職員数に共済費及び退職手当の平均単価を乗じて算出した共済費相当額（事業主負担分）及び退職手当相当額が含まれています。
（注２）差額の△(マイナス)には、県税や県債、国庫支出金等を充当しています。
（注３）各項目毎に千円未満四捨五入を行っているため、各計欄は各項目を合計したものと一致しない場合があります。

## Ⅲ　職員配置状況

| | 区分 | ４月１日 | ７月１日 | 10月１日 | １月１日 |
|---|---|---|---|---|---|
| 配置職員数 | 常勤職員 | 88 | 88 | 87 | 87 |
| | 上記以外の職員 | 62 | 62 | 61 | 63 |
| | 計（人） | 150 | 150 | 148 | 150 |

## Ⅳ　業務実施状況

１　生徒数の状況（平成２６年５月１日現在）

全日制

| | | １年 | ２年 | ３年 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|
| 学級数 | | 9 | 8 | 7 | 24 |
| 生徒数 | 男 | 178 | 164 | 125 | 467 |
| | 女 | 183 | 157 | 153 | 493 |

定時制

| | | １年 | ２年 | ３年 | ４年 | 合計 |
|---|---|---|---|---|---|---|
| 学級数 | | 5 | 4 | 4 | 3 | 16 |
| 生徒数 | 男 | 90 | 62 | 62 | 47 | 261 |
| | 女 | 58 | 42 | 47 | 19 | 166 |

## 2　年間行事予定

全日制

| | | |
|---|---|---|
| ４月　入学式 健康診断<br>防災訓練 | ５月　中間テスト<br>陸上競技大会 | ６月　記念祭 創立記念日<br>推薦入試説明会 |
| ７月　期末テスト 学校説明会<br>夏季休業 夏季講習 | ８月　夏季休業 保護者面談<br>地区合同説明会 夏季講習 | ９月　合唱祭 避難訓練<br>指定校推薦説明会 |
| 10月　中間テスト 学校説明会<br>地域貢献デー | 11月　修学旅行 文学散歩<br>学校説明会 | 12月　期末テスト 進路講演会<br>冬季休業 |
| １月　冬季休業<br>地域清掃活動 | ２月　入学者選抜<br>マラソン大会 | ３月　卒業式 学年末テスト<br>進路講演会 |

定時制

| | | |
|---|---|---|
| ４月　入学式 健康診断<br>個人面談 | ５月　中間テスト 進路説明会<br>生徒総会 | ６月　修学旅行 創立記念日<br>就職説明会 |
| ７月　期末テスト 夏季休業<br>生徒個別指導 | ８月　夏季休業<br>地区合同説明会 | ９月　防災訓練 |
| 10月　中間テスト<br>地域貢献デー | 11月　文化祭 | 12月　期末テスト 学校説明会<br>冬季休業 |
| １月　冬季休業 卒業テスト | ２月　学年末テスト<br>入学者選抜(共通) | ３月　卒業式<br>入学者選抜(分割) |

## 3　進路の状況

全日制

| | | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 |
|---|---|---|---|---|
| 卒業者数 | | 278 | 277 | 278 |
| 進学 | ４年制大学 | 219 | 204 | 216 |
| | 短期大学 | 2 | 3 | 4 |
| | 専門学校・各種学校 | 3 | 6 | 4 |
| 就職 | | 1 | 1 | 0 |
| その他・進学準備等 | | 53 | 63 | 54 |

定時制

| | | 平成23年 | 平成24年 | 平成25年 |
|---|---|---|---|---|
| 卒業者数 | | 76 | 115 | 69 |
| 進学 | ４年制大学 | 1 | 3 | 4 |
| | 短期大学 | 0 | 0 | 0 |
| | 専門学校・各種学校 | 12 | 19 | 14 |
| 就職 | | 18 | 33 | 10 |
| その他・進学準備等 | | 45 | 60 | 41 |

## Ⅴ　業務運営に関する評価

### 1　平成26年度の学校目標

全日制

・生徒のニーズに合わせた自発的学習意欲を喚起するための教育環境を整備する。
・生徒一人ひとりが「自主・自律」の精神のもと充実感のある学習・部活動・生徒会活動などの諸活動が行える支援体制を整備する。
・学力向上を踏まえ、授業の工夫・改善を進め、進路実現に向け自発的かつ発展的な学習や課題解決的な学習を充実させる。
・キャリア教育を充実させるとともに、生徒の自主的な活動を推進し、社会に貢献できる豊かな人間性を育成する。
・保護者や地域住民等との連絡・連携を密にし、情報を共有したうえでの教育活動を展開するとともに、安全で開かれた学校づくりを推進する。
・安全で快適な学びを支える教育環境の整備に努め、事故のない信頼される学校づくりを進める。

定時制

・教育課程を弾力化するとともに、生徒の実情やニーズに合わせた多様な学習機会を生徒に提供する。
・支援を必要とする生徒への対応を充実し、安心できる学校環境を整える。
・授業の工夫・改善を進めるとともに、発展的な学習や課題解決的な学習を充実させ、学習意欲を向上させる。
・キャリア教育を充実させるとともに部活動を活性化させ、生徒のキャリア発達を支援し、自らの進路や生き方についての意識を高める。
・保護者や地域住民等と協働・連携した教育活動を展開するとともに、開かれた学校づくりを進める。
・学校運営の改善に向けた取組を一層推進するとともに、安全対策を強化し、信頼される学校づくりを進める。

### 2　平成26年度の学校目標の評価

全日制

・生徒による授業評価の結果から見ると生徒のニーズにあった授業が行われていると判断できる。
・朝の時間を活用した「希望未来塾」を開講し、生徒の向学心を高め、進路実現に向けた取組を実践した。
・部活動加入率を見ると、文化部・運動部ともに多くの生徒が参加しめざましい成績を残す部活動もあることから、文武両道の伝統は今日でも引き継がれている。
・記念祭、合唱祭、球技大会などの学校行事においては、生徒主体の運営がなされている。
・スクールカウンセラーの活用の充実がなされ、面談を希望する生徒、保護者のニーズに合わせた生徒相談体制の拡充が図れた。
・「希高生の向学心に火をつける」をスローガンに全教員が授業研究に取り組む体制が構築された。
・人的交流や英語学習を通して、生徒の国際理解を深めることができた。
・学校説明会では、昨年に引き続き中学校、保護者、地域住民に対して本校の取組等を発信し、本校の理解を深める機会となった。
・「地域貢献デー」などの機会を通じて地域小学校との交流を行い、高い評価を得た。
・事故防止に係る意識の啓発を継続的に行った。
・成績処理等では、複数の教員による相互チェックを徹底した。

定時制

・仕事と学業の両立を目指す生徒の支援を目指した教育課程の編成に課程全体で取り組み、授業時間の変更や学校設定科目の設置などの成果が得られた。
・三修制での卒業生徒が大幅に増加したことは入学時からの継続的なサポートの成果である。
・ＳＣと担任との情報交換により、課題を抱えた生徒の理解が共有できたことで、支援を行うことができた。
・日本語を母語としない生徒に対する支援を行ったが、効果測定について検討も必要である。
・基礎学力の充実に向けた指導については研究が進み、成果も得られた。
・キャリア教育に関しては系統的な指導を実行したが、多様な生徒の意識を高めるためには効果測定にもとづく検証も必要である。
・学校行事や部活動への参加を促す活動は継続的に実施できた。
・夜間の地域貢献活動は少年補導員の協力を得て実施し成果を得た。ボランティア活動に参加することで単位認定された生徒もいた。
・災害時の備蓄整備は計画的に行ったが予算措置など課題もある。継続的な取組が求められる。
・安全教育については継続的に実施し、成果も見受けられるが、家庭の協力が得られないケースも多い。

| 連絡先（電話番号） | 045-391-0061 |
|---|---|